



「文法器」使用説明書

NPO法人 文法器普及会

このたびは弊会の「文法器」をご購入いただきましてありがとうございます。
安全に正しくご使用いただくために、必ずお読みください。

重要

使用上の注意 使用前に必ずお読みください。

注意



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



保管注意

火気の付近や高温になる暖房機の付近に置かないこと。変形して使用できないことが
あります。

幼児の手の届かないところに置くこと。 けがの原因となることがあります。



使用注意

- ホワイトボード用 マーカーを使用すること。
- 油性マーカーを使用すると消せなくなることがあります。
- 操作をするときには、製品の近くにいる人にごつけないように注意して使用すること。
- 製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしないで。破損の原因となることがあります。
- ベンゼンシンナーラッカーの溶剤や油類を使用しないこと。変形や破損の原因となります。
- プレートを突起物や角のあるものの上に置かないこと。 変形や破損の原因となります。

内容物

ガイド枠 2組

白色プレート2枚 黄色プレート2枚 青色プレート2枚
桃色プレート2枚 緑色プレート2枚 橙色プレート2枚

製品情報

ガイド枠	アクリル樹脂マグネットシート	523 mm × 100 mm × 10 mm	250 g
プレート	塩基基材・塩ビシート印刷	460 mm × 123 mm × 0.6 mm	57 g
オーバークラシネット	ペット樹脂 フッ素コーティング		

「文法器」を使用する学習指導のねらい。

- 古典文法において助動詞・助詞が接続する活用形が決まっていることを理解させる。
- 誤りやすい語句を接続にもとづいて識別し、古典の理解を確かなものにする。
- 敬語の並び順が決まっていることを理解させる。
- 漢文書き下し文も古典文法の助動詞・助詞の接続に基づいていることを理解させる。

この教具は、助動詞・助詞が主にどの活用形に接続するかを色であらわし、図式化したものです。次の図は、接続関係を示した活用表です。

助動詞・助詞の接続

助詞の接続	助動詞の接続	四段已然形に接続	体言連体形に接続			終止形に接続 <small>ラ変型には連体形に接続</small>						連用形に接続						未然形に接続						サ変未然形に接続						
			基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形							
なばでは むや <small>仮定</small>	さすまじずむむ すし まほるしむ <small>サ変</small>	り	ごとし	たり	なり	らし	べし	らむ	まじ	なり	めり	たし	けむ	きり	たり	ぬ	つ	り	まほし	らる	る	しむ	さす	す	まし	じ	ず	む	むず	
てしなが なが な	たけきけたぬ しむりり	り	ごとく	たり	なり	べかり	べかり	まじかり	まじく	(なり)	(めり)	たかり	たかり	お	お	たり	にて	り	まほしかり	まほしかり	られ	れ	しめ	させ	せ	お	ざり	ず	お	
「となや 」も と	らべらまじり ししむ	り	ごとし	たり	なり	らし	べし	らむ	まじ	なり	めり	たし	けむ	きり	たり	ぬ	つ	り	まほし	らる	る	しむ	さす	す	まし	じ	ず	む	むず	
連あ 体と	ごたり ごとし	る	ごとき	たる	なる	べかり	べかり	まじかる	まじかる	なる	める	たかる	たかる	けめ	し	たる	ぬる	つる	まほしかる	まほしかる	らる	る	しむ	さする	する	まし	じ	ぬ	む	
ばども 確定	り は四段	れ	お	たれ	なれ	らし	べけれ	らむ	まじけれ	なれ	めれ	たけれ	(けめ)	しか	けれ	たれ	ぬれ	つれ	まほしけれ	まほしけれ	らる	れ	しむれ	さすれ	すれ	ましか	(じ)	な	め	
		れ	お	たれ	なれ	お	お	お	お	お	お	お	お	お	お	(たれ)	ね	てよ	れ	お	お	らる	れよ	しむれよ	さすれよ	せよ	お	ざれ	お	お

文法器®

「秘密の活用表」のpdf版がwebページからダウンロードできます。
http://bunpouki.com/?page_id=305

「文法器」は接続関係を色で表示し、活用を横向きに表示した教具です。

助動詞

助詞

裏面を使う
形容動詞を示すときに使います。

白色は自立語（動詞・形容詞・

黄色は未然形接続の
助動詞と助詞

青色は連用形接続の
助動詞と助詞

桃色は終止形接続の
助動詞と助詞

緑色は連体形接続の
助動詞と助詞

橙色は已然形接続の
助動詞と助詞

未然形に接続						基本形
命令	已然	連体	終止	連用	未然	
○	むす	むす	むす	○	○	むす
○	め	む	む	○	○	む
ざ	ざ	ざる	ず	ざり	ざら	ず
○	(じ)	じ	じ	○	○	じ
○	ま	まし	まし	○	○	まし
○	せ	す	す	○	○	す
○	さ	さ	さ	○	○	さ
し	し	し	し	○	○	し
れ	る	る	る	○	○	る
○	ま	ま	ま	○	○	ま
れ	る	る	る	○	○	る

連用形に接続						基本形
命令	已然	連体	終止	連用	未然	
て	つ	つ	つ	て	て	つ
ね	ぬ	ぬ	ぬ	に	な	ぬ
(た)	た	た	た	たり	たら	たり
○	け	ける	けり	○	○	けり
○	し	し	き	○	(せ)	き
○	け	け	む	○	○	けむ
○	た	た	た	○	○	た

終止形に接続(ラ変には連体形)						基本形
命令	已然	連体	終止	連用	未然	
○	め	める	めり	めり	○	めり
○	な	なる	なり	なり	○	なり
○	ま	まじ	まじ	まじ	○	まじ
○	ら	らむ	らむ	○	○	らむ
○	べ	べ	べ	○	○	べ
○	ら	らし	らし	○	○	らし

連体形に接続(体言にも)						基本形
命令	已然	連体	終止	連用	未然	
な	な	なる	なり	に	なり	なり
た	た	たる	たり	と	たり	たり
○	○	こと	こと	こと	○	こと

已然形に接続						基本形
命令	已然	連体	終止	連用	未然	
れ	れ	る	り	り	ら	り

ば	ば	ば	ば
ど	ど	ど	ど
も	も	も	も

あと	あと	あと	あと
格助詞	格助詞	格助詞	格助詞
接続助詞	接続助詞	接続助詞	接続助詞
など	など	など	など

や	や	や	や
な	な	な	な
とも	とも	とも	とも
と	と	と	と

て	て	て	て
して	して	して	して
つ	つ	つ	つ
ながら	ながら	ながら	ながら
に	に	に	に
て	て	て	て

ば	ば	ば
ど	ど	ど
も	も	も

使用例 一

「徒然草」冒頭を「文法器」で示します。

係助詞

徒然なるままに、

日暮らし、硯にむかひて、

		心に			
け	け	く	ゆく	うつり	き
命令	已然	連体	終止	連用	未然

よしなし事を、

かれ	けれ	かき	か	かり	から				
命令	已然	連体	終止	連用	未然				

		けよ	くれ	くる	つき	け	け		
		命令	已然	連体	終止	連用	未然		

		ば	ども	ど					
		確定							

しか	しけれ	しき	しあ	しかり	しから				
命令	已然	連体	終止	連用	未然				

は	こそ	か	や	な	む	ぞ			
命令	已然	連体	終止	連用	未然				

ほ	ほ	ほ	も	ほ	ほ	ほ			
命令	已然	連体	終止	連用	未然				

「あやしうこそものぐるほしけれ。」は形容詞、已然形一語であることを「文法器」で示します。

ほ	ほ	ほ	も	ほ	ほ
命令	已然	連体	終止	連用	未然

形容詞
シク活用
已然形

「ばかばかしい気持ちがする。」

「けれ」を「こそ」の結びの已然形と
考えてしまうと、間違った接続

ほ	ほ	ほ	も	ほ	ほ
命令	已然	連体	終止	連用	未然

× こそ

ほ	ほ	ほ	も	ほ	ほ
命令	已然	連体	終止	連用	未然

青色の伝聞過去・詠嘆の助動詞「けれ」ならば、連用形に接続することを示します。

ほ	ほ	ほ	も	ほ	ほ
命令	已然	連体	終止	連用	未然

「ばかばかしい気持ちがシタナア。」

使用例 二

「土佐日記」序文を「文法器」で示します。

「すなる日記」と「するなり。」の識別を一目で表示することができます。

せよ	すれ	する	す	し	せ
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			日記と		
			ものを、		
			をんなも		
			ふ	言ふ	ひ
			は		
			は		
			は		

せよ	すれ	する	す	し	せ
命令	已然	連体	終止	連用	未然
てにしがな	そ	ながら	つつ	して	て
みよ	みれ	みる	みる	み	み
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			め	む	む
			め	む	む
			め	む	む

せよ	すれ	する	す	し	せ
命令	已然	連体	終止	連用	未然
なれ	なれ	なる	なり	なり	なら
命令	已然	連体	終止	連用	未然

○桃色の伝聞・推定の助動詞「なり」は、終止形に接続することを示します。

○緑色の断定の助動詞「なり」は、連体形に接続することを示します。

使用例 三

四段活用・尊敬語「給へ」+「る」の識別。プレートを2枚重ねて入れられます。

せよ	すれ	する	す	し	せ
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			日記		
			すると聞く、		
			書くと聞く、		

せよ	すれ	する	す	し	せ
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			とて		
			書くのである。		

下二段・謙譲語の未然形に

接続しない。

下二段・謙譲語の未然形に

接続しない。

へ	へ	ふ	給ふ	ひ	は
命令	已然	連体	終止	連用	未然
れ	れ	る	り	り	ら
命令	已然	連体	終止	連用	未然

○	ふれ	ふる	(給ふ)	へ	下二
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			れ	れ	る
			れ	れ	り
			れ	れ	り
			れ	れ	ら
			れ	れ	ら
			れ	れ	ら

○	ふれ	ふる	(給ふ)	へ	下二
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			れ	れ	る
			れ	れ	り
			れ	れ	り
			れ	れ	ら
			れ	れ	ら
			れ	れ	ら

れよ	るれ	るる	るる	れれ	れれ
命令	已然	連体	終止	連用	未然

未然形接続の「る」と重ねる。

「けむ」「けれ」「し」「か」「す」「せ」「たり」「て」「と」「も」「な」「なむ」「なり」「に」「て」「ぬ」「ね」「ぬ」「ぬ」「む」「む」「む」「む」「む」「む」「む」「む」など同音識別の説明にご利用ください。

使用例 四

敬語の並び順が決まっていることを示すときに、応用します。
助動詞と重なるときは使いません。

見よ	見れ	見る	見る	見	見
命令	已然	連体	終止	連用	未然
れ	れ	る	奉る タテマツ	り	ら
命令	已然	連体	終止	連用	未然
へ	へ	ふ	給ふ	ひ	は
命令	已然	連体	終止	連用	未然

れ	れ	る	承る ウケマツ	り	ら
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			侍れ	侍る	侍り
			侍れ	侍り	侍ら
			命令	已然	連体

敬語の並び順

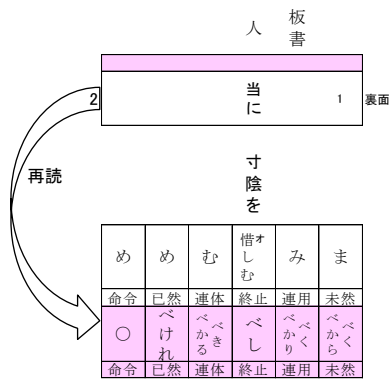
黄色	謙讓語・間接尊敬
青色	尊敬語・直接尊敬
緑色	丁寧語・聞き手尊敬

使用例 五

漢文書き下し文も古典文法の助動詞・助詞の接続、係り結びに基づくことを示します。

再読文字

「人当^{まて}に寸陰を惜しむべし。」 「人当^{まて}に寸陰を惜しむべし。」



○ 桃色プレートの裏に「再読目の」当^{まて}に」と書き、表に返して再読する「べし」の活用を示すと、効果的です。

- 「未だ^{いま}」なら、黄色プレート「ず」
- 「将に^{まさ}」なら、黄色プレート「む」+「と」+白プレート「す」
- 「猶^{なほ}」なら、「の」+緑プレート「ら」+「と」
- 「盍^{なん}ぞ」なら、黄色プレート「ず」を係り結び連体形「ざる」に。

二重否定

「父母之年不^レ可^レ不知也。」 「父母の年は知ら^{ざる}なるなり。」
「父母の年は必ず知っていなければならぬ。」

知ら	板書	未然
だれ	だれ	だる
命令	已然	連体
べし	べし	べかり
命令	已然	連体
だれ	だれ	だる
命令	已然	連体
なれ	なれ	なる
命令	已然	連体

カラープレートの助動詞は、全てひらがなで書くことがわかります。

れ	れ	る	知る	り	ら
命令	已然	連体	終止	連用	未然
			べし	べかり	べから
			命令	已然	連体
なれ	なれ	なる	なり	なり	なら
命令	已然	連体	終止	連用	未然

2枚の「不」プレートを外し、否定を否定する意味が、肯定（当然）になることを示せます。

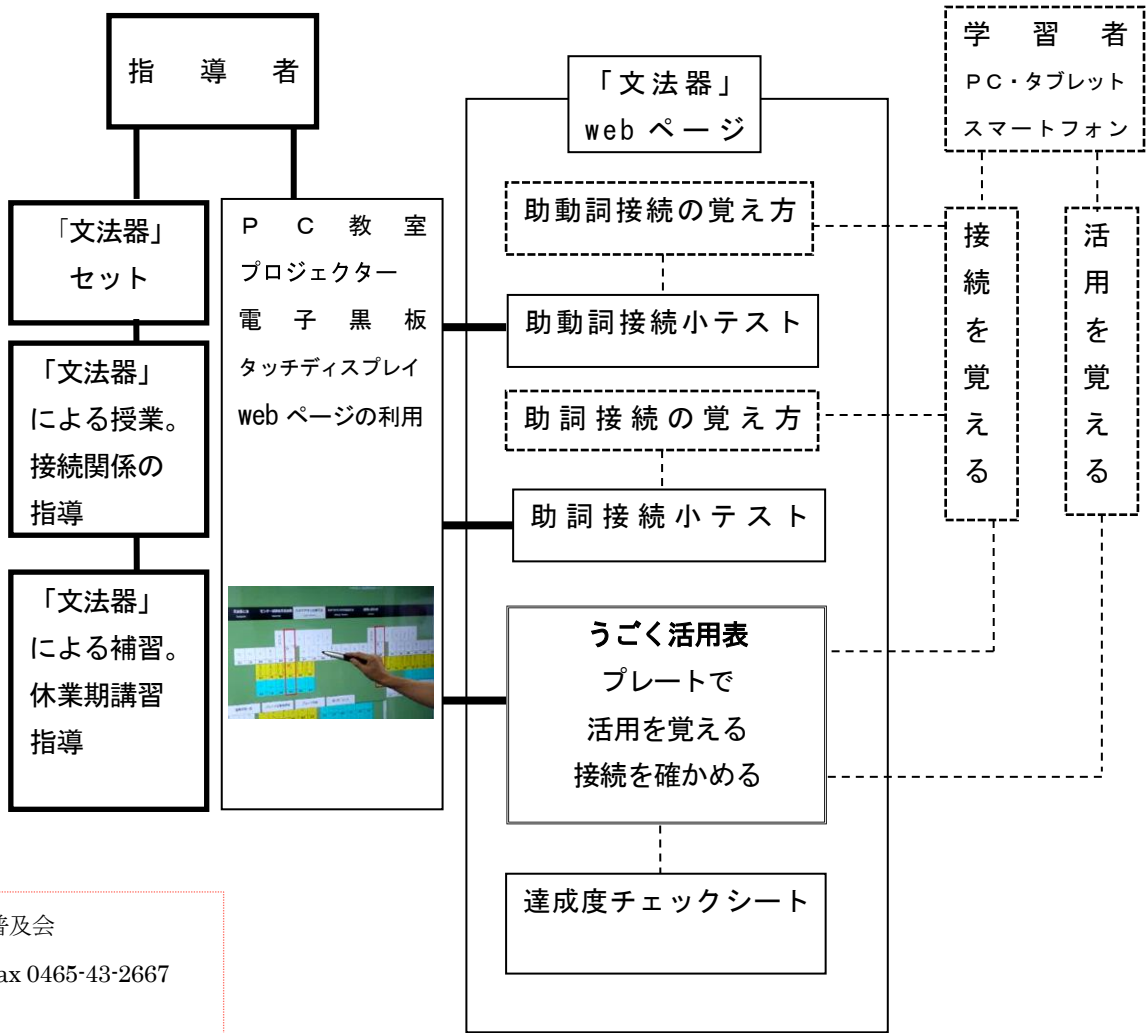
さまざまに工夫してご利用ください。

NPO法人文法器普及会は、インターネットホームページで学習支援をしております。

「うごく活用表」はデジタル世代に向けたwebページです。

webで覚える学習コンテンツです。「文法器」をweb上で再現しております。

プロジェクト・電子黒板・タッチディスプレイでご利用ください。



NPO法人 文法器普及会

TEL0465-43-2667 Fax 0465-43-2667

〒256-0803

神奈川県小田原市中村原720-4

<http://bunpouki.com>